

STR On-Demand

オンデマンドマイクロインカム
特定小電力トランシーバー

SRFD 10

取扱説明書

EN027U000

付属品

- カラーラベル (赤、青、黄、緑、シルバー、各1枚)
- 回転式クリップ (トランシーバーに取付済み)
- 取扱説明書
- 保証書

正しくご使用いただくために

- 本機に接続するイヤブースやマイクは、当社純正オプションを使用してください。当社純正以外のオプションを使用すると、故障や破損の原因になります。
- 当社純正以外のオプションによる故障や破損、事故などの損害については、弊社では一切責任を負いかねます。
- 本機の動作温度範囲は-10℃～+50℃です。

防水性能について

本機は、オプションのイヤブースやマイクをしっかりと接続した状態で、IEC国際規格 IP68 相当 (防塵性: IP6X^{*1}、防水性: IPX8^{*2}) の防塵、防水性能を有しています。なお、イヤブースやマイク本体は防水ではありません。
※1: 粉塵の侵入から完全に保護されている事。
※2: 真水 / 静水に水深 1.5m の位置で 30 分間浸しても機器の動作に影響をおよぼさない事。

● オプションの専用充電器と専用アダプタで充電します

② AC 100Vのコンセントに挿し込む

充電時間: 約3時間
使用可能時間: 約13時間

トランシーバーの背面側に▼マーク側にして挿し込みます

▼マーク クリップ

専用アダプタ (オプション)

① プラグを挿し込む

連結型充電器 (オプション)

赤色点灯: 充電中
緑色点灯: 充電完了
赤色点滅: 充電エラー

● イヤブース / タイピンマイクを接続する

オプションのイヤブース/タイピンマイクを奥までしっかり差し込む

● 電源を入れる

押し続けて電源をオンにします。もう一度押し続けると電源がオフになります。

● トランシーバーをクリップで装着する

襟元や胸ポケットなどに取り付けます。

※イヤブースのコードを首の後ろ側にまわすとコードが邪魔になりません。

クリップは360度回転可能

● チャンネルをあわせる 2-in-1 コミュニケーション

本機は2つのチャンネル (A-ch と B-ch) を同時にモニターできます。A-ch と B-ch には別々のチャンネル番号を設定してください。グループ全員同じチャンネル番号に設定します。混信がある時は使われていないチャンネルに変更してください。

① A-ch を変える場合 [アクセス] キーと [▲] キーを同時に押す

② チャンネル番号が点滅している間に [▲]/[▼] キーを押してチャンネルをあわせる

B-ch を変える場合 [アクセス] キーと [▼] キーを同時に押す

● 話をする (送信する) ワンクリックハンズフリーオペレーション

通常は A-ch で送信しますが、A-ch が通話中の場合は自動で B-ch で送信します。受信する側は A-ch の通話を受信中でも、同時に B-ch の音声を聞くことができます。

① [アクセス] キーをワンクリックすると「ブツ」と音が鳴って送信します。

- キーを放しても、話をしている間は送信を継続します。
- 送信中は「ブツ...ブツ...」と音が鳴り、送信中であることがわかります。

② 話すのをやめると「ブツ」と音が鳴りワンクリック自動で受信に戻ります。

③ 周りの音で話が終わっても自動で受信に戻らない場合は、再度 [アクセス] キーを押すと受信に戻ります。周りの音が大きい時は [アクセス] キーを押したまま話をして、[アクセス] キーを放して受信に戻ります。

● 話を聞く (受信する) 音量は [▲]/[▼] キーで調節します

[▲] 上げる

[▼] 下げる

● 話を止めても受信に戻らないとき [アクセス] キーを押すと受信に戻ります。周りの音が大きいときは [アクセス] キーを押したまま話をして [アクセス] キーを放して受信に戻ります。

● 話が途中で受信に戻ってしまうとき [▲][▼] を同時に押しながら電源を入れる → [▲]/[▼] キーでセットモード 04 を選ぶ → [アクセス] キーを押す → [アクセス] キーを押して "t3" を選ぶ → [アクセス] キーを長押し → [▲] キーでセットモード 05 を選ぶ → [アクセス] キーを押す → [アクセス] キーを押して "03" を選ぶ → [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しして設定終了。

● トランシーバーを操作したときのピープ音の音量を変えたい [▲][▼] を同時に押しながら電源を入れる → [▲]/[▼] キーでセットモード 07 を選ぶ → [アクセス] キーを押す → [アクセス] キーを押して音量 "01 ~ 15" を選ぶ → [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しして設定終了。

● 相手の声が途中で途切れる、よく聞こえないとき 相手との距離が離れている場合や障害物などで電波が届かない事が考えられます。別売りの中継器を使用すると通話エリアが広がりクリアな通話を行えます。中継器に関しては、お買い上げの販売店にご相談ください。

● 混信がおきる、雑音がある 使われていない他のチャンネルに変更します。A-ch を変える時は [▲] と [アクセス] キーを同時に押してから、B-ch を変える時は [▼] と [アクセス] キーを同時に押してから [▲]/[▼] でチャンネルを変更します。

● 全ての SRFD 10 のチャンネルを一齐に変更する 混信などでチャンネルを変更するとき、1台ずつではなく複数台のチャンネルを一齐に変更できます。裏面の「複数台の SRFD 10 を一齐に同じチャンネルに変更する スマートクローン機能」を参照してください。

正常に動かない時は、工場出荷時の状態に戻します (オールリセット) [▲][▼][CUE] の3つのキーを同時に押しながら電源を入れる → 画面に "F" が点滅 → [アクセス] キーを押す → 画面に "88" が表示された後自動で電源が切れて、オールリセットは終了です。

基本的な通話のしかた

通話中にこんなことが起きたら

各部の説明

運用例

現在のチャンネルを表示します
チャンネルを非表示にしている時は "-" が表示されます。チャンネルを表示する時は、セットモード 12 の設定を "ON" にしてください。

音量アップ中 音量ダウン中

ホットライン通話中 PA機能動作中

バッテリー残量警告 (すぐに充電してください)

バッテリー使用可能時間の目安

A-ch と B-ch 両方を使用する時	約 13 時間
A-ch、B-ch のどちらかを使用する時	約 18 時間

単信方式で、送信6秒：受信6秒：待ち受け48秒の繰り返しによる運用を想定

LED インジケータ

赤点灯: 送信時
緑点灯: 受信中 (送受信チャンネル設定が "At" の時)
送受信チャンネル設定が "At" 以外の時

A-ch 受信時	緑点灯	
B-ch 受信時	緑点滅	
A-ch と B-ch 同時受信時	A-ch と B-ch の音量が同じ時	緑点滅
	A-ch の音量を強調している時	緑点灯
	B-ch の音量を強調している時	緑点滅

赤点滅: ホットライン通話中
オレンジ点滅: 遠隔 PA 送信中

付属のカラーラベル (全5色) を貼ると、誰が使うトランシーバーなのかを識別できます。

	▲ キーの操作	▼ キーの操作
音量	大きくなります	小さくなります
チャンネル変更	A-ch のチャンネルを変えます。[アクセス] キーと同時に押し、チャンネルが点滅中に [▲]/[▼] キーを押してチャンネルを変更します。	B-ch のチャンネルを変えます。[アクセス] キーと同時に押し、チャンネルが点滅中に [▲]/[▼] キーを押してチャンネルを変更します。
送信チャンネル変更	[CUE] と同時に押すと、送信チャンネルが A-ch になります。	[CUE] と同時に押すと、送信チャンネルが B-ch になります。

CUE キーの操作

メンバーにアラームを鳴らして合図を送ります CUE 機能

[CUE] キーを押してメンバーに合図を送ることができます。アラームの音量や種類は、裏面のセットモード F8 F9 で変更できます。

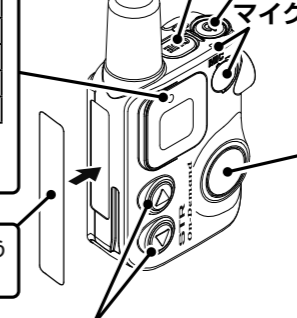
中継器の拡声器を使います 遠隔 PA 機能 (あらかじめ設定が必要です)

[CUE] キーを押しながら話すと、PA 機能がついている当社の中継器から音声を出します。 ※セットモード 08 の設定を "on" にしてください。

特定のメンバーだけと通話ができます ホットライン機能 (あらかじめ設定が必要です)

[CUE] キーと [アクセス] キーを同時に押しながら話すと、特定のメンバーとだけ通話ができます。設定は以下の方法で行います。
[▲] と [▼] キーを同時に押しながら電源オン → [▲]/[▼] キーでセットモード F6 を選んで [アクセス] キーを押す → [アクセス] キーを押して "1" か "2" (同じ番号を設定したメンバーだけで通話可能) または "AL" (1 と 2 どちらのコードでも通話可能) を選ぶ → [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しして設定を終了

電源スイッチ 長押しして電源をオン/オフします。



アクセスキーの操作

送信する時に押します
ワンクリックハンズフリーオペレーション
短押し: 送信状態になり、話をしている間はキーを押さなくても送信を続け、話をやめるか再度アクセスキーを押すと受信に戻ります。
長押し: 押している間は送信を続け、放すと受信に戻ります。
※送信中は「ブツ...ブツ...」と音が鳴ります。

A-ch と B-ch の音声が同時に聞こえる時に片方の音量を下げ聞きやすくします PCA 機能

アクセスキーを押すたびに音量が以下ようになります。

A-ch と B-ch 同じ音量になる

A-ch の音量が下がる ← B-ch の音量が下がる

歯科・クリニック (2グループ同時モニター)

グループ A とグループ B は、それぞれ別の業務を行っている
グループ A はグループ B の音声、グループ B はグループ A の音声も聞こえるが通話はグループ内でおこなう

■ マネージャー

- ・マネージャーは AB 両グループに同時に指示を出せます
- ・マネージャーは片方のグループの通話音声を聞いている最中でも、もう片方のグループに連絡ができる

■ グループ A のスタッフ

■ グループ B のスタッフ

● 設定方法

1. [▲] と [▼] キーを同時に押しながら電源を入れる。
2. セットモード F1 が表示 → [アクセス] キーを押す。
3. [アクセス] キーを押して以下のように設定する。
マネージャー: At を選ぶ
AB 両グループ: AL を選ぶ
4. [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しします。
5. グループ A は [CUE] と [▲] キーを同時に押し、送信チャンネルを A-ch に設定します。
6. グループ B は [CUE] と [▼] キーを同時に押し、送信チャンネルを B-ch に設定すると完了。

倉庫・配送所 (グループオペレーション)

全員が A-ch と B-ch の音声を同時に聞くことができる
片方のチャンネルが使用中でも、もう片方のチャンネルで連絡ができる

A-ch B-ch

● 工場出荷時の設定ですので、そのままご使用になれます。他の設定にしてある場合は以下の方法で設定を戻してください。

1. [▲] と [▼] キーを同時に押しながら電源を入れる。
2. セットモード F1 が表示 → [アクセス] キーを押す。
3. [アクセス] キーを押して以下のように設定する。
マネージャー: At または AL を選ぶ
グループ A: A を選ぶ
グループ B: B を選ぶ
4. [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しすると設定は完了。

ホテル・レストラン (2グループオペレーション)

グループ A とグループ B は、それぞれ別の業務を行っており、グループ内の通話しか聞こえない
マネージャーは、それぞれのグループに個別に指示を出す

■ マネージャー

- ・グループ A とグループ B 両方の音声が聞こえる
- ・グループ A とグループ B どちらにも連絡ができる

■ グループ A のスタッフ

■ グループ B のスタッフ

● 設定方法

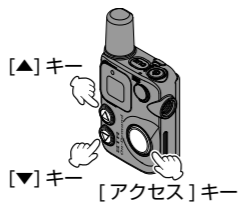
1. [▲] と [▼] キーを同時に押しながら電源を入れる。
2. セットモード F1 が表示 → [アクセス] キーを押す。
3. [アクセス] キーを押して以下のように設定する。
マネージャー: At または AL を選ぶ
グループ A: A を選ぶ
グループ B: B を選ぶ
4. [アクセス] キーを長押し → もう一度 [アクセス] キーを長押しすると設定は完了。

複数台のSRFD10を一齐に同じチャンネルに変更する(スマートクローン機能)

混信が発生した場合など、一齐にチャンネルを変更したい場合、複数台のSRFD10のチャンネルを自動で変更することができます。

注意 全てのSRFD10を近くに置いてください。

- 1台のSRFD10を新しいチャンネルにします。
- 全てのSRFD10で、[▲]/[▼]/[アクセス]キーを同時に押し続けます。
- 画面に“cL”が点滅表示します。
- 新しいチャンネルにしたSRFD10の[CUE]キーを押します。
LEDインジケータが赤色で点滅して、チャンネル情報を送信します。
- その他のSRFD10の画面が自動でチャンネル表示になります。
- [▲]/[▼]/[アクセス]のいずれかのキーを押すと、チャンネル番号表示に戻ります。



通話エリアを拡大する(中継器対応)

通話相手との間に障害物がある場合や、距離が離れている場合など、電波が届かずに通話できないときは、中継器を中間点に設置することで通話エリアを広げることができます。

中継器をえるようにする

- 右記セットモードの“F2 通話モードの設定”を“rP”にします。
- 続けてセットモード“26 中継用チャンネルタイプの設定”を中継器のチャンネル設定にあわせて。
中継器のチャンネル設定が“10～18”の時 → “9”にする
中継器のチャンネル設定が“12～29”の時 → “18”にする
- 以上で、中継器を使う準備は終了です。

通話のしかた

中継器と同じチャンネルにあわせて[アクセス]キーを押して話します。

ファスト接続機能

中継通話を行う時に、[アクセス]キーを押してから中継器が中継動作を開始して通話ができるまでの時間を短縮することができます。

- 右記セットモードの“F3 ファスト接続機能のON/OFF”を“on”にします。
- 中継器の“ファスト接続機能”も“ON”にします(設定方法は中継器の取扱説明書をご覧ください)。
- 以上で設定は終了です。

“SRFD10”と“中継器”のグループコード互換表

中継器を使用した通話を行う時、本機と中継器のグループコードを合わせる必要があります(下表参照)。

例: 中継器が“GP08”のグループコードに設定してある場合は、右記のセットモード項目“F4”または“F5”のグループコードを“08”に設定します。

本機のコード	中継器のコード	本機のコード	中継器のコード	本機のコード	中継器のコード	本機のコード	中継器のコード
01	GP01	25	GP25	55	D031	79	D152
02	GP02	26	GP26	56	D032	80	D155
03	GP03	27	GP27	57	D036	81	D156
04	GP04	28	GP28	58	D043	82	D162
05	GP05	29	GP29	59	D047	83	D165
06	GP06	30	GP30	60	D050	84	D172
07	GP07	33	GP33	61	D051	85	D174
08	GP08	34	GP34	62	D053	86	D205
09	GP09	35	GP35	63	D054	87	D212
10	GP10	36	GP36	64	D065	88	D223
11	GP11	37	GP37	65	D071	89	D225
12	GP12	38	GP38	66	D072	90	D226
13	GP13	39	GP39	67	D073	91	D243
14	GP14	40	GP40	68	D074	92	D244
15	GP15	41	GP41	69	D114	93	D245
16	GP16	46	GP46	70	D115	94	D246
17	GP17	47	GP47	71	D116	95	D250
18	GP18	48	GP48	72	D122	96	D251
19	GP19	49	GP49	73	D125	97	D252
20	GP20	50	GP50	74	D131	98	D255
21	GP21	51	D017	75	D132	99	D261
22	GP22	52	D023	76	D134		
23	GP23	53	D025	77	D143		
24	GP24	54	D026	78	D145		

送信した音声を中継器のスピーカーから出力する遠隔PA(拡声器)機能

送信した音声を中継器本体のスピーカーから出力して、トランスミッターを持っていないスタッフにも連絡することができます。

PA(拡声器)機能を使う準備

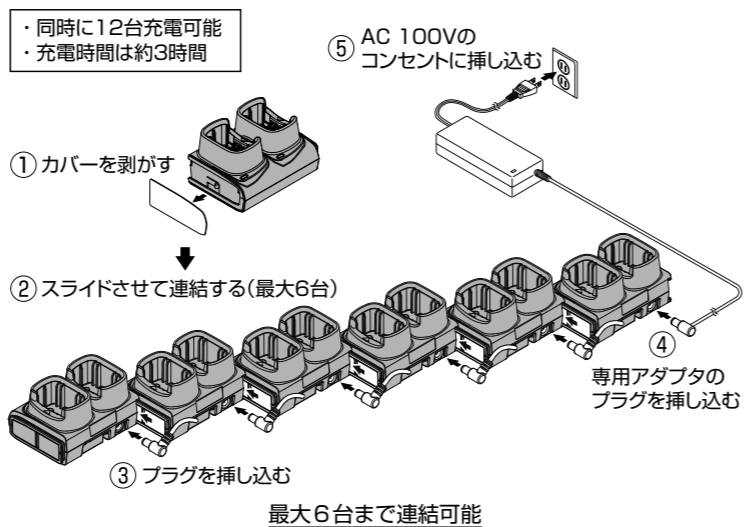
- 右記セットモードの“08 PA機能のON/OFF”を“on”にします。
- 中継器もPA機能に関する設定をします(設定方法は中継器の取扱説明書をご覧ください)。
- 以上で、PA機能を使う準備は終了です。

PA(拡声器)機能を使う

- トランスミッターと中継器が同じチャンネルになっていることを確認します。
- [CUE]キーを押しながら話します。
画面に“PA”が点滅してLEDインジケータがオレンジ色で点滅します。
- トランスミッターで話した声が、中継されながら中継器のスピーカーから出力されます。
- [CUE]キーを放すとPA機能は停止して、受信に戻ります。

連結型充電器の連結のしかた

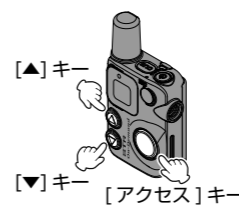
オプションの連結型充電器は、SRFD10を同時に2台充電することができます。最大6台まで連結できますので、SRFD10を同時に12台充電することができます。12台を同時に充電する場合でも、充電は約3時間で終了します。



セットモードの設定方法

表中の■部分は、よく使用する項目です。

- [▲]と[▼]キーを同時に押しながら電源を入れます。
- 表示が“F1”になっていることを確認して[▲]/[▼]キーで下表の番号を選んで[アクセス]キーを押します。
- [アクセス]キーを押して選びたい設定値を選び[アクセス]キーを長押しします。
- 再度[アクセス]キーを長押しするとチャンネル表示画面に戻り、設定が終了します。



画面表示	機能(白抜きは工場出荷時の設定です)
F1	送受信チャンネル設定 AL: A-chとB-chの両方で送受信ができます。 ・受信: A-chとB-chの受信音声を同時に聞くことができます。 ・送信: 自動で空いている方のチャンネルで送信します。 AL: A-chとB-chの両方で送受信ができます。 ・受信: A-chとB-chの受信音声を同時に聞くことができます。 ・送信: A-ch/B-chから選択して送信します。 A: A-chだけで送受信します。 b: B-chだけで送受信します。
F2	通話モードの設定 SP: 通常の通話(交互通話)をするとき。 rP: 中継器を使った通話をするとき。
F3	ファスト接続機能のON/OFF 当社のファスト機能対応中継器を使用して中継通話を行う時、中継器との接続時間を短縮する機能をON(on)/OFF(oF)します。
F4	A-chのグループコード設定 同じグループコードが設定されている信号の音声だけが聞こえるようになります。“oF”にするとグループコードに関係なく音声聞こえます。 oF / 01 / 02 / 03 ... ■01... 97 / 98 / 99
F5	B-chのグループコード設定 同じグループコードが設定されている信号の音声だけが聞こえるようになります。“oF”にするとグループコードに関係なく音声聞こえます。 oF / 01 / 02 / 03 ... ■02... 97 / 98 / 99
F6	ホットライン設定 特定のメンバーとだけ通話ができる“ホットライン機能”を設定します。 oF: ホットライン機能は動作しません。 AL: 全てのホットラインコードの信号を受信できます。送信時はコード“1”で送信します。 1 / 2: 同じ番号を設定したメンバーだけで通話できます。
F7	ピープ音量調節 トランスミッターの操作を行った時に鳴るピープ音の音量を調節します。 01 / 02 / 03 ... ■03... 13 / 14 / 15
F8	CUEアラーム音量の調節 CUE信号を受信した時に鳴るアラームの音量を調節します。 00(アラームOFF) / 01 / 02 / ... ■03... 14 / 15
F9	CUEアラーム音の種類 CUE信号を受信した時に鳴るアラーム音のパターンを選びます。 A(ブブ) / b(ブー) / c(ピー)
01	内部マイク感度調節 トランスミッターに内蔵のマイク感度を調節します。 01 / ■02 / 03
02	外部マイク感度調節 トランスミッターに接続したマイク感度を調節します。 01 / ■02 / 03
03	アクセスキーの動作設定 P1: ワンクリックハンズフリーモード 送信状態になり、話している間はキーを押さなくても送信を続け、話をやめるか再度アクセスキーを押すと受信に戻ります。 PTTモード 押し続けている間は送信を続け、放すと受信に戻ります。 P2: 押し続けている間は送信を続け、放すと受信に戻ります。 P3: 短押しすると送信状態になり、話している間はキーを押さなくても送信を続け、話をやめるか再度アクセスキーを押すと受信に戻ります。 P4: アクセスキーを押さなくても、話を始めると自動的に送信状態になり、話をやめると自動的に受信に戻ります。 oF: アクセスキーを押しても送信しません。受信専用になります。
04	送信維持時間の設定 ワンクリックハンズフリーモードで、話をやめてから受信状態に戻るまでの時間を設定します。 t1(短い) / ■t2 / t3(長い)
05	送受切り替え感度調節 ワンクリックハンズフリーモードで、話をやめてから受信状態に戻る感度を調節します。通常は“02”のみまで使用しますが、屋外などで大きな声で話すときは“01”に、静かな場所での小さな声で話すときは“03”にします。 01 / ■02 / 03
06	スケルチレベル調節 信号が無い時に「ザーッ」という雑音がある場合に調節します。設定値を大きくすると雑音は消えやすくなりますが、弱い電波が聞こえなくなることがあります。 ■01 / 02 / 03 / 04
07	CUE送信のON/OFF グループ全員のトランスミッターにアラームを鳴らして合図を送るCUE信号の送出動作をON(■on) / OFF(oF)します。

画面表示	機能(白抜きは工場出荷時の設定です)									
08	PA機能のON/OFF PA機能に対応している当社の中継器本体のスピーカーから音声を出力する機能をON(on) / OFF(oF)します。									
09	送信開始時のピープ音のON/OFF 送信を開始した時に鳴るピープ音をON(■on) / OFF(oF)します。									
10	受信終了時のピープ音のON/OFF 受信が終了した時に鳴るピープ音をON(■on) / OFF(oF)します。									
11	送信終了時のピープ音のON/OFF 送信を終了した時に鳴るピープ音をON(■on) / OFF(oF)します。									
12	チャンネル表示のON/OFF トランスミッターの操作が終わった時のチャンネル表示をON/OFFします。 on: チャンネルを表示します。 oF: “-”を表示します。									
13	LEDインジケータのON/OFF on: LEDインジケータが点灯・点滅します。 oF: LEDインジケータが点灯・点滅しなくなります。									
14	秘話機能の設定 秘話機能を設定していない(同じ数字にあわせていない)トランスミッターでは通話内容を聞き取りにくくなります。 oF / 1 / 2 / 3									
21	断線検出機能のON/OFF 接続したイヤピースやマイクが断線している場合、電源を入れた時に“Er”の表示とLEDがオレンジ点滅する機能をON(■on) / OFF(oF)します。									
22	コンパンド機能のON/OFF 相手が話している時に聞こえる「サー」というノイズを低減し、相手の声を聞き取りやすくする機能をON(■on) / OFF(oF)します。									
23	バッテリーセーブ機能のON/OFF バッテリーの消費を抑える機能をON(■on) / OFF(oF)します。									
24	バッテリー低電圧警告のON/OFF バッテリーが無くなると“-”の点滅表示とピープ音で知らせる機能をON(■on) / OFF(oF)します。									
25	チャンネル番号表示タイプの設定 チャンネル番号の表示を、連続した番号表示にすることができます。 <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>通常通話用チャンネルの表示</th> <th>中継用チャンネルの表示</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>01</td> <td>1 ~ 9 / 01 ~ 11</td> <td>10 ~ 18 / 12 ~ 29</td> </tr> <tr> <td>d2</td> <td>01 ~ 20</td> <td>01 ~ 27</td> </tr> </tbody> </table>		通常通話用チャンネルの表示	中継用チャンネルの表示	01	1 ~ 9 / 01 ~ 11	10 ~ 18 / 12 ~ 29	d2	01 ~ 20	01 ~ 27
	通常通話用チャンネルの表示	中継用チャンネルの表示								
01	1 ~ 9 / 01 ~ 11	10 ~ 18 / 12 ~ 29								
d2	01 ~ 20	01 ~ 27								
26	中継用チャンネルタイプの設定 9: 中継用チャンネル10~18を使用するとき。 18: 中継用チャンネル12~29を使用するとき。									
27	送信出力の設定 中継器を使用した通信をする際の送信出力(電波の強さ)を設定します。 10: 連続して3分間送信すると一度2秒間受信状態になります。その後再び3分間連続送信できます。 1: 時間の制限が無く連続送信できます。									
28	オートパワーオフ時間の設定 一定時間何も操作を行わないと電源の切り忘れとみなし、自動的に電源が切れます。自動で電源が切れるまでの時間を設定します。 oF(電源はオフになりません) / 1h / 2h / 4h / 8h									
29	セットモードコピー機能 設定した内容をワイヤレスで他の複数台のSRFD10に一齐にコピーできます。設定をコピーする全てのSRFD10で以下の操作を行います。 1. [▲]と[▼]キーを同時に押しながら電源を入れます。 2. [▼]キーを押して“29”を表示させて[アクセス]キーを押します。 3. [アクセス]キーを押して“t”または“r”を選びます。 t: コピー元のトランスミッター r: コピー先のトランスミッター 4. コピー先のトランスミッターの[アクセス]キーを長押しします。“cL”が表示されます。 5. コピー元のトランスミッターの[アクセス]キーを長押しします。“cL”→“tH”と表示して、設定データを送信します。 画面に“29”が表示されるとコピーは終了です。 6. [アクセス]キーを長押しすると、チャンネル表示に戻ります。									

アフターサービス / ご注意

正常なご使用状態で万一故障した場合や点検・修理・製品に関するお問い合わせは、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお願いします。

八重洲無線株式会社
〒140-0002 東京都品川区東品川2-5-8 天王洲パークサイドビル
TEL: 03-6711-4055

- ・この取扱説明書に記載の社名、商品名などは、各社の登録商標です。
- ・このトランスミッターは国内専用モデルです。海外では使用できません。
- ・本体底面に貼ってある“証明ラベル”を剥がしたり、分解や改造を行うことは法律で禁止されています。
- ・本製品には保証書が添付されています。お買い上げいただいた日から3年以内に、取扱説明書に従った正常な使用状態で故障した場合には、無料で修理をお引き受けします。誤った使い方や過失などによる故障や破損は、保証期間中であっても有償修理の対象となる場合があります。
- ・内蔵電池は消耗品のため保証対象外です。化学的経年劣化なども保証対象外です。
- ・内蔵電池の交換(有償)は、お買い上げいただきました販売店または、当社国内営業部までお問い合わせください。